

# 副業による関係人口の拡大・創出に関して



※ご注意事項※

本資料は、地方創生を目的として株式会社スキルシフトが作成したものであり、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社スキルシフトに帰属しております。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ無断で複製または転送、開示等を行わないようお願いいたします。本資料は提供させていただいたお客様限りでご使用いただき、その内容の全部又は一部について株式会社スキルシフトの事前の明示的な承諾の無い限り、他の第三者に開示しないようお願い申し上げます。

## 副業人材と地方中小企業のイノベーションを目的とした事業会社として 2019年10月1日、株式会社スキルシフト設立



会社名 株式会社スキルシフト  
所在地 東京都港区東新橋  
設立 2019年  
資本金 2,000万円（資本準備金含む）  
事業 副業プラットフォーム事業  
スタッフ 5名

副業人材登録 約2,500名  
全国約60市町、300社の中小企業への人材応募99.6%



国内最大級のプロフェッショナル人材が登録する  
ビジネスマッチングプラットフォーム事業を運営する  
株式会社みらいワークス（マザーズ：6563）の  
グループ企業です。

地方↔都市部の人材領域における格差を改善し、日本の経済発展に貢献します。

月に1回の現地面談+普段はオンラインで遠隔サポート  
平均謝礼4万円（/月）という出張ベースの副業スタイルを提案。



都市部在住の優秀なビジネスパーソン、  
約3,000名が登録する国内最大級の副業プラットフォーム

# Skill Shiftの実績（地方自治体）

先進自治体と連携し、都市部人材×地方企業の副業による関係人口創出

千葉県・銚子市  
(副業人材活用)



北海道・石狩市  
(副業人材活用)



岩手県・八幡平市  
(副業人材活用)



富山県・南砺市  
(関係人口x人材確保事業)



岐阜県・恵那市  
(副業人材窓口)



## その他、Skill Shiftがサポートする事業一覧

- ・平成30年度「地域中小企業人材確保支援等事業」
- ・平成31年度「大阪府 タレントシェアリング事業」
- ・平成31年度「富山県 ふるさと貢献交流新規プロジェクト創出事業」
- ・平成31年度「九州経済産業局 スキルシェアリングプログラム」
- ・平成31年度「中国経済産業局 スキルシェアリングプログラム」
- ・平成31年度「下関市 副業・兼業人材活用促進事業」

## 関係人口・副業・兼業モデル事例として関係省庁の資料で紹介



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

行政から見る兼業・副業と企業と働き手の関係性 2018.5.15



内閣府

わくわく地方生活実現政策パッケージに関連する取組について 2018.9.26



総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications

「異能(Inno)vation」アワード受賞 2018.10.24



平成30年度「地域中小企業人材確保支援等事業」

※YM-ZOPが受託し、Skill Shiftで事業展開

内閣官房

人材・組織の育成及び関係人口に関する検討会 2019.3.25

まち・ひと総合戦略の検討会に招集  提言

【首相官邸HP／資料5参照】 <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/meeting/kankeijinkou/h31-03-25.html>

2020年度から5年間の地方創生の方向性を示す基本方針案  
令和元年6月「まち・ひと・しごと創生会議」閣議決定



## 地方創生基本方針のポイント

- ・自動運転など先端技術の実用化支援
- ・地方での兼業・副業を後押し
- ・女性や高齢者、外国人の活用
- ・高校生による地方での生活体験
- ・企業版ふるさと納税制度の拡充
- ・外国企業誘致や対日投資呼び込み
- ・スポーツツーリズムの促進

関係人口の拡大において、Skill Shiftが生み出したモデルが  
政府戦略に色濃く影響。

# これまでの実績（地方中小企業）

全国88市町村、約300社の企業が副業による人材を募集。  
業種・業態・規模・エリア関係なく**99.6%**応募

エリア	求人件数	応募人数
北海道	4	46
岩手県	11	112
宮城県	6	66
福島県	5	20
群馬県	25	319
千葉県	18	213
埼玉県	10	195
東京都	1	5
静岡県	4	28
長野県	2	14
新潟県	2	40
石川県	1	6
富山県	45	442
岐阜県	5	63
大阪府	12	102

エリア	求人件数	応募人数
滋賀県	2	28
兵庫県	1	15
和歌山県	1	22
高知県	1	2
岡山県	3	29
鳥取県	5	33
島根県	1	3
広島県	45	401
山口県	48	452
福岡県	26	264
大分県	2	11
宮崎県	2	18
鹿児島県	7	47
アジア	2	25

※本表は、2020年2月に集計したものです。赤文字は事業連携エリア

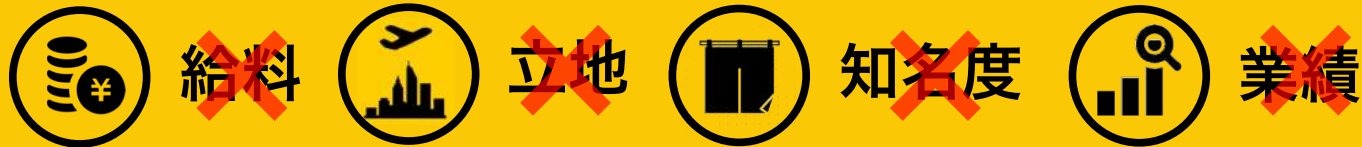
地方企業で副業を希望する3,000名以上の都市部人材が登録。  
求人1件当たりの平均応募者、9.0名。30%以上のマッチング率。





# 社会課題とSkill Shift

都市部大企業やベンチャーに比べ、地方の中小企業は全てにおいて不利。正社員採用（雇用）競争に負ける。



## 労働人材

人手・作業・労働力  
(今の売上を立てる)

よりレベルの高い  
中核人材の雇用は  
壊滅的。

## 中核人材

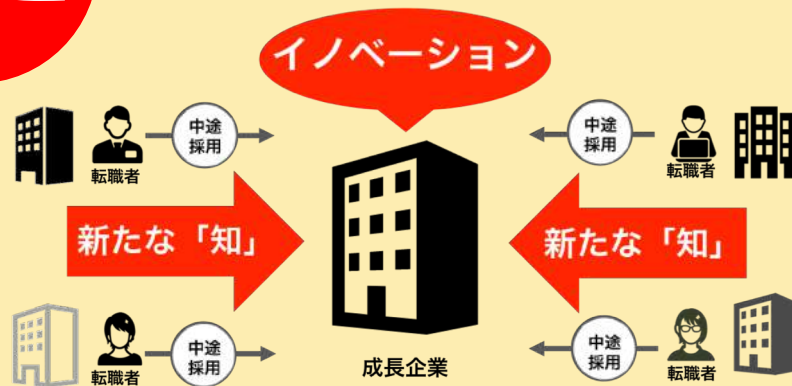
企画・経験・ノウハウ  
(生き残るための将来戦略)

採用できない

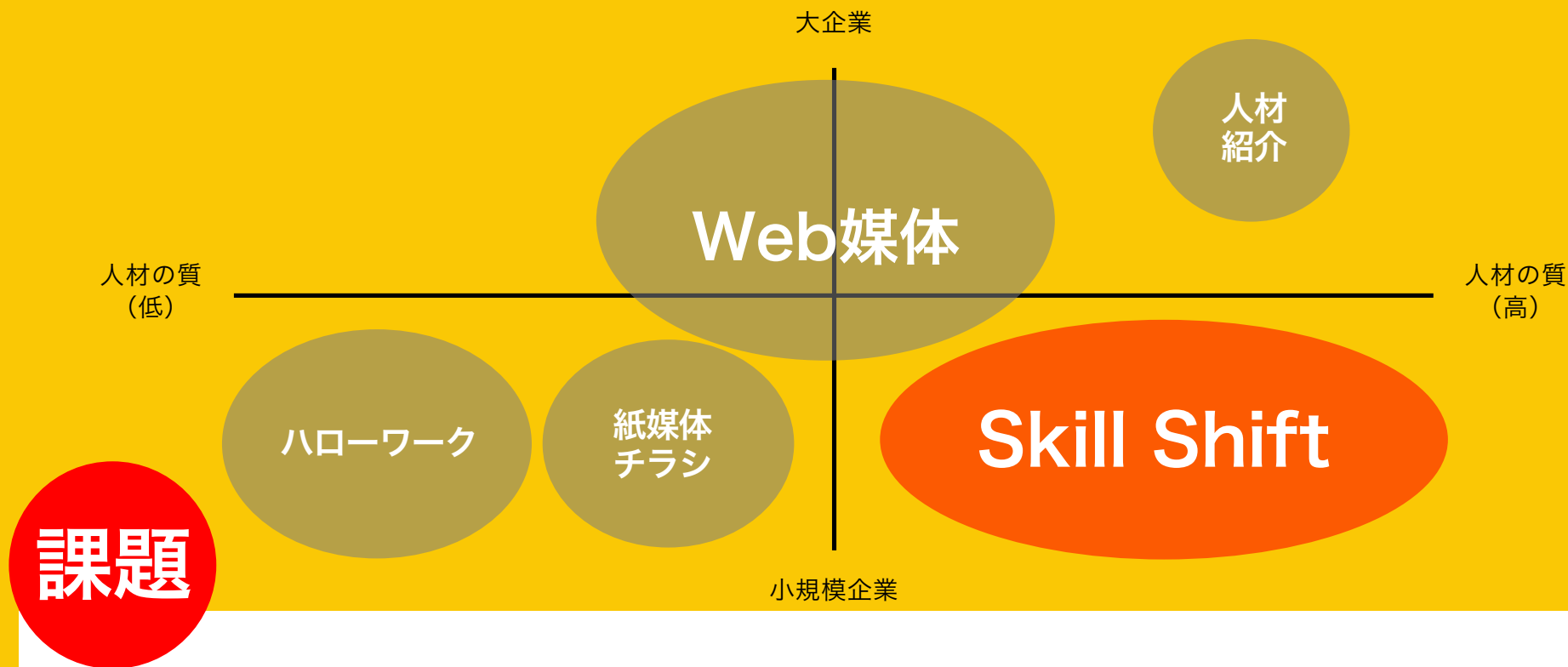
新規〇〇が生まれない。チャレンジも無い。  
仮説が立たない。0→1を立ち上げられない。  
新しい手段・知恵が入らない。人材が育たない。

**イノベーションが生まれない。  
地域経済の不活性化。**

課題

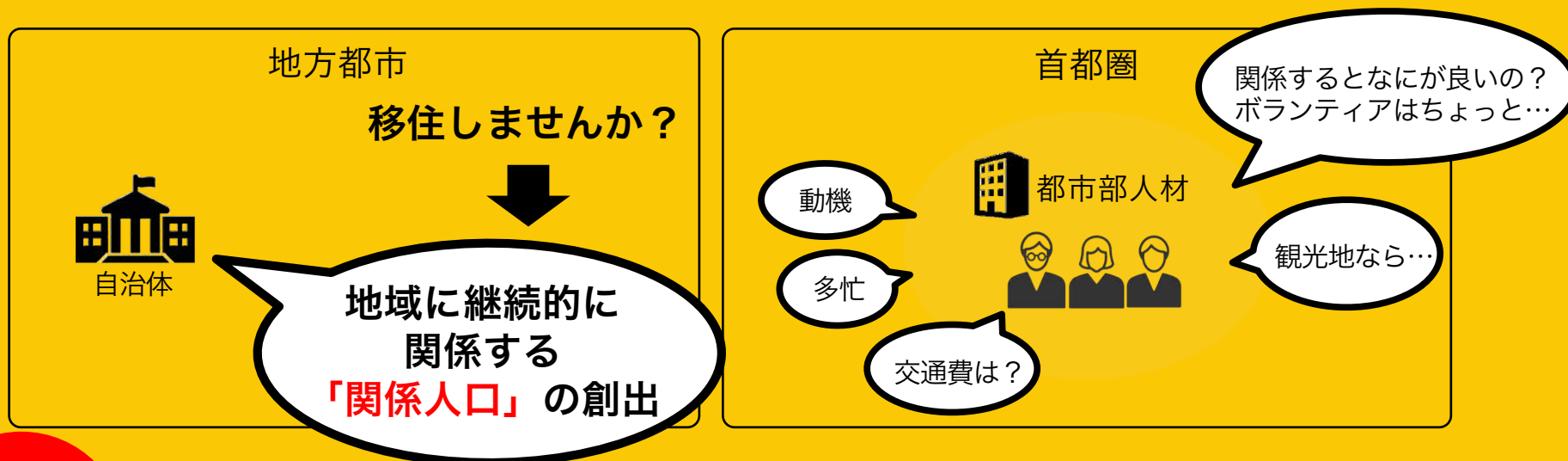


人材領域における最大の課題は**地域企業への「応募」**が生めないこと。



特に中小企業の優秀な人材確保をする手段が世の中に存在しません。  
**Skill Shiftは日本社会で唯一、地方企業への高い応募があるメディアです。**  
このため、短期間で圧倒的なマッチングが生まれます。

## これまでの移住促進から関係人口創出へ戦略変更



### 課題

- 1 なぜ関係しないといけないのか? 今のままではいけないのか?  
都市部の人材に行動を起こさせるための**具体的なメリット**が提示できない。
- 2 プロボノプログラムなどこれまで実施してきた企画との変化が必要不可欠。  
地方創生好きプレーヤーはすでに開拓済みで、**それ以外の裾野を開拓できない**。
- 3 交付金・財源の切れ目=関係の切れ目にならないよう、どう設計するか?  
継続的に関係性が続く**持続・自走可能なモデルが無い**。

労働人口の減少を受けて政府主導により2018年、副業解禁。

## 障壁①

### 現実味の無い副業・兼業事例

本業+起業などの事例や、本業の他に2社掛け持ちなど、スーパープレイヤーの事例が多く、一般的な正社員には真似できない事例ばかりで実態とミスマッチ。

## 障壁②

### 副業解禁の本質と副業目的

副業「解禁」されているのは、都市部の有名企業やベンチャー企業に勤める「優秀な人材」。一方で世にある副業サービスはおカネ稼ぎ目的が多くミスマッチ。

## 障壁③

### 副業する場が飽和状態

都市部企業での顧問やコンサルは、名だたる人材が就任しており、大手企業の課長クラスの副業ニーズはない。副業解禁者数に比べて、受け入れ先が圧倒的にない。

## 課題

各種意識調査によると副業の潜在ニーズは**400万人**しかし、ニーズにマッチするソリューションがないため、広がらない。

副業解禁の本質にひも付き、いち早くサービスを設計

## これまでの副業



目的： **お金稼ぎ**

## 副業「解禁」



目的： **少なくともカネではない**

副業を解禁されているのは狭き門をくぐり抜けた「優秀な人材」かつ既に相当の待遇を受けている人材です。

つまり単純な金儲けではなく実力試しや地域貢献等に関心を持つ層。

地方中小企業・都市部人材・地方自治体  
3者の課題を解決する唯一無二のサービスとして展開。

## < 地方中小企業の長年の課題 >



地方企業

- ・ **実践できない人材確保ノウハウ**
- ・ 社内の人材を育成できない
- ・ そもそも人材の応募がない
- ・ 高水準の待遇は用意できない

採用創出。低単価で他社の優秀な人材活用  
人材育成・イノベーションが起きた

## < 副業解禁時代の高度人材の課題 >



都市部人材

- ・ 副業に興味はあるけど何ができるか不明
- ・ おカネが欲しいわけではない
- ・ 副業のやり方、見つけ方などが不明
- ・ **世の事例はとうてい実践できそうにない**

これまでのプロボノ等では動かなかった  
ビジネスパーソンが活発に参加・応募

## < 地方自治体の悩み・課題 >



自治体

- ・ 継続的に地域に関わる「魅力」が生めない。
- ・ 単年度で事業が終われば関係人材も終了
- ・ 関わって欲しいのはやる気に満ちた優秀な人材
- ・ **地域や地域の人に関わるコンテンツが生めない。**

これまでのプロボノ等では動かなかった  
ビジネスパーソンが活発に参加表明し継続訪問

全国の中小零細企業が実践できる、唯一の人材課題解決手段



平成26年経済センサス基礎調査（総務省統計局）

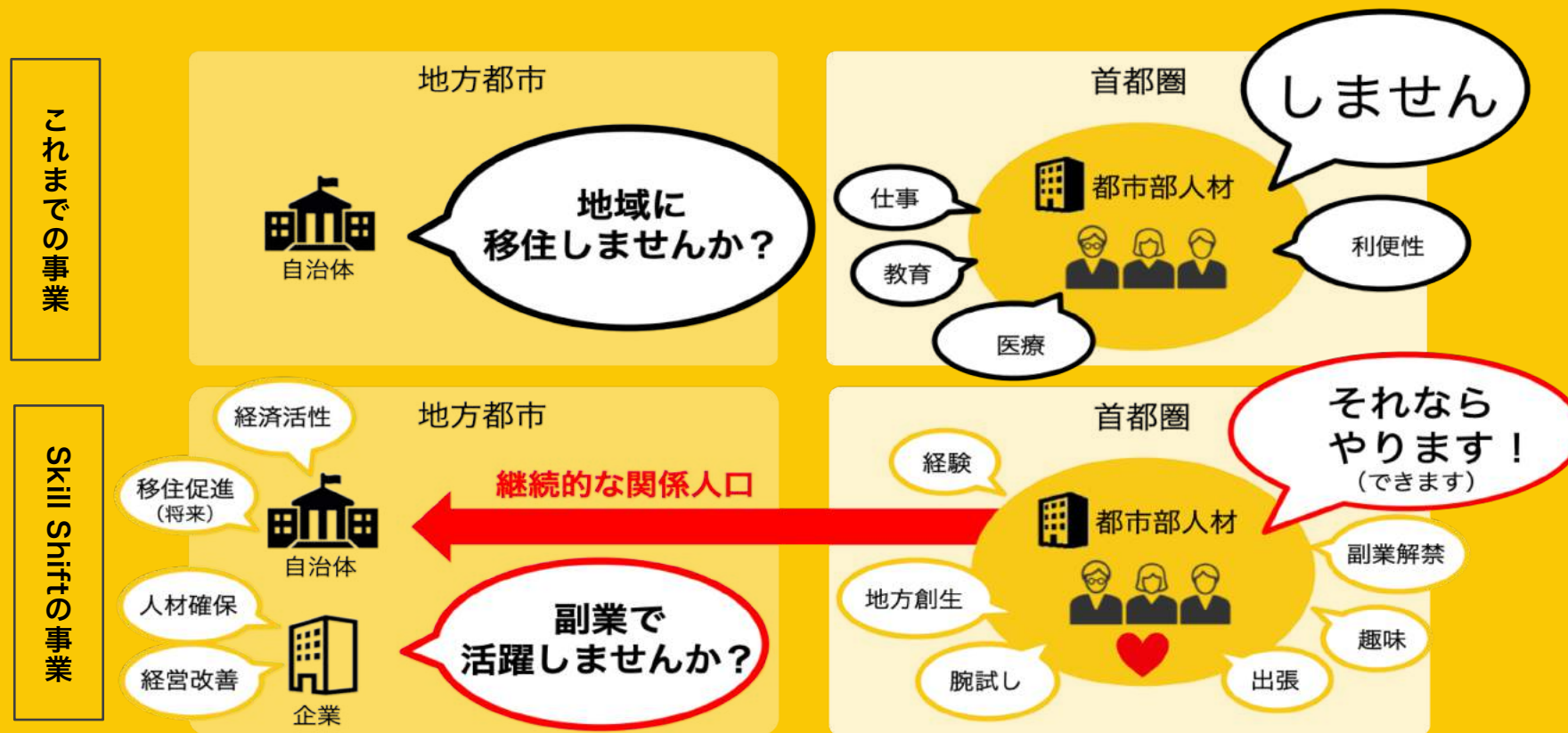




**都市部副業人材×地方企業マッチング  
実施状況の詳細ご紹介**

# これまでの事業構造との違い

地域企業を関係人口の受け皿として捉え、新たな関係人口を創出



これまでの事業では「地域への訪問動機」を生み出すことが事業課題となっていました。

副業による関係人口は地域企業の人材課題を解決し、地域経済の活性化を促進しつつ副業を通じて、継続的で良質な人材層の「関係人口」を創出することができます。



**南砺市企業の課題**  
 事業拡大のノウハウやスキルを持つ高度人材が地域に少ない。また、それら人材を継続雇用する企業体力も不足。

**南砺市の課題**  
 Uターン促進につながる良質な関係人口の創出。継続的に南砺市と関わり、南砺市のファンとなる応援市民を増やす。

**都市部人材 (正社員)**  
 キャリアアップや良質な経験機会を得たい都市部人材と、人材不足の地方企業を「副業」でマッチングするサービス。

南砺市

副業を通じた良質で継続的な関係人口

都市部

将来的に  
Uターンにつながる  
関係人口増やしたい



南砺市役所

事業拡大したい  
人材育成したい  
雇用はできない



南砺市企業

営業強化やマーケティング手法、IT活用、海外進出など、都市部企業の正社員がもつ業務スキルやノウハウを「副業」で取り込み、事業強化につなげる。

南砺市『副業』応援市民プロジェクト拠点

NANTO CITY CREATOR PLAZA SAKURA CREA

南砺市、南砺市商工会、(株)grooves (グルーヴス) が南砺市クリエイタープラザを拠点とし、都市部人材と地域企業のマッチングを促進します。

都市部人材

趣味  
帰省  
地域貢献 地方創生  
すぐに移住はしない  
副業したい  
実力を試したい

「副業解禁」されている企業に勤める正社員は様々な業務スキル・ノウハウを持っている。お小遣い稼ぎより「やりがい」を重視する高度人材層。

南砺市では事業開始わずか1ヶ月で2社が都市部人材を確保。副業中。



石崎家具株式会社

営業企画を募集



8名応募



1名採用



日の出屋製菓産業株式会社

海外事業戦略を募集



3名応募



1名採用



商工会青年部を中心に  
セミナー参加を呼びかけ

高反応！

<結果状況>

- ・11社が参加し、9社が副業求人掲載
- ・11社全てに都市部から応募あり（平均4.6人）
- ・現在、順次面談実施中
- ↳12月1日現在6社が副業者決定

## 山口・広島・小倉の3会場でSkill Shift の啓蒙セミナーを実施

※) YMFGグループの広域組織力を活かし、新しい人材活用の興味のある企業経営者を集客し、啓蒙セミナー、副業人材の集客はSkill Shiftが実施。

広島会場



小倉会場



山口会場



高反応！

	参加社数	掲載希望
山口	28社	11社
小倉	28社	19社
広島	45社	25社
合計	101社	55社

＜結果状況＞2019年1月現在

- ・ のべ253人から副業応募
- ・ 14社で、16人が採用（東京・大阪・奈良など）
- ・ 掲載社全ての求人に応募
- ・ 現在、順次面談実施中

# これまでの実績（地方中小企業）

中核人材確保に悩む中小企業が、都市部人材を採用することで  
人材育成、生産性向上、新商品開発などのイノベーションが起きています。

## 地方中小企業の経営課題① 組織強化・人材育成

営業部門の生産性向上、人材育成が経営課題  
しかし、中核人材の確保は難しい。

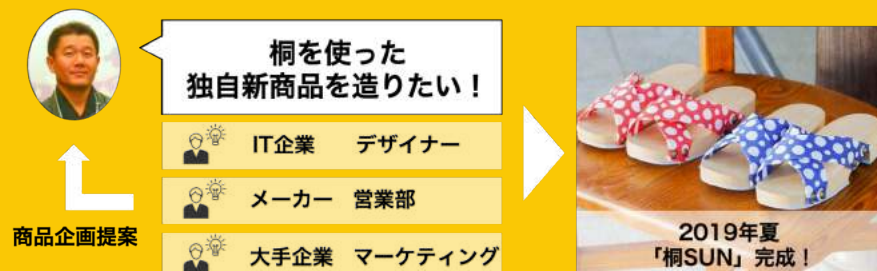


外部人材が入り、古いやり方や無駄を指摘・改善することで  
**従業員の思考や行動が変化**

都市部の正社員が、社内に加わることで  
自社では気づけ無い改善方法を知ることができます。  
従業員に刺激を与えるとともに  
業務ノウハウを共有してもらうことで人材育成が可能。

## 地方中小企業の経営課題② 販売強化、新事業新製品

これまでの事業リソースを活用して、  
新しい商品を作りたいが良い仮説が立たない。



副業人材チームが新商品のアイデアを提示し開発

新規事業や、商品開発、マーケティングなど  
仮説を元に企画・立ち上げを  
従業員に刺激を与えるとともに  
業務ノウハウを共有してもらうことで人材育成が可能。



**事業連携について**

## 地域金融機関との連携による「共創」を促す事業スキーム

UIターン促進・関係人口創出事業  
地域産業活性化支援事業



- ・集客、チラシ制作、セミナー開催  
(求人掲載件数20社を下限目標)
- ・地域企業フォローアップ

- ・地域企業の  
サービス利用料として

事業予算

Skill Shiftは事業サポートで参画



Skill Shift

- ・副業求人保守・メンテナンス
- ・地域金融機関のフォロー
- ・ノウハウの提供、育成

ノウハウ提供

- ・セミナー登壇
- ・副業人材活用事例の紹介

サポート



地域企業

まずは事業予算を活用し「無料」で  
副業人材の募集を行い、副業人材活用の  
可能性についての気づきを創出。

地域での副業人材活用事例を創る。

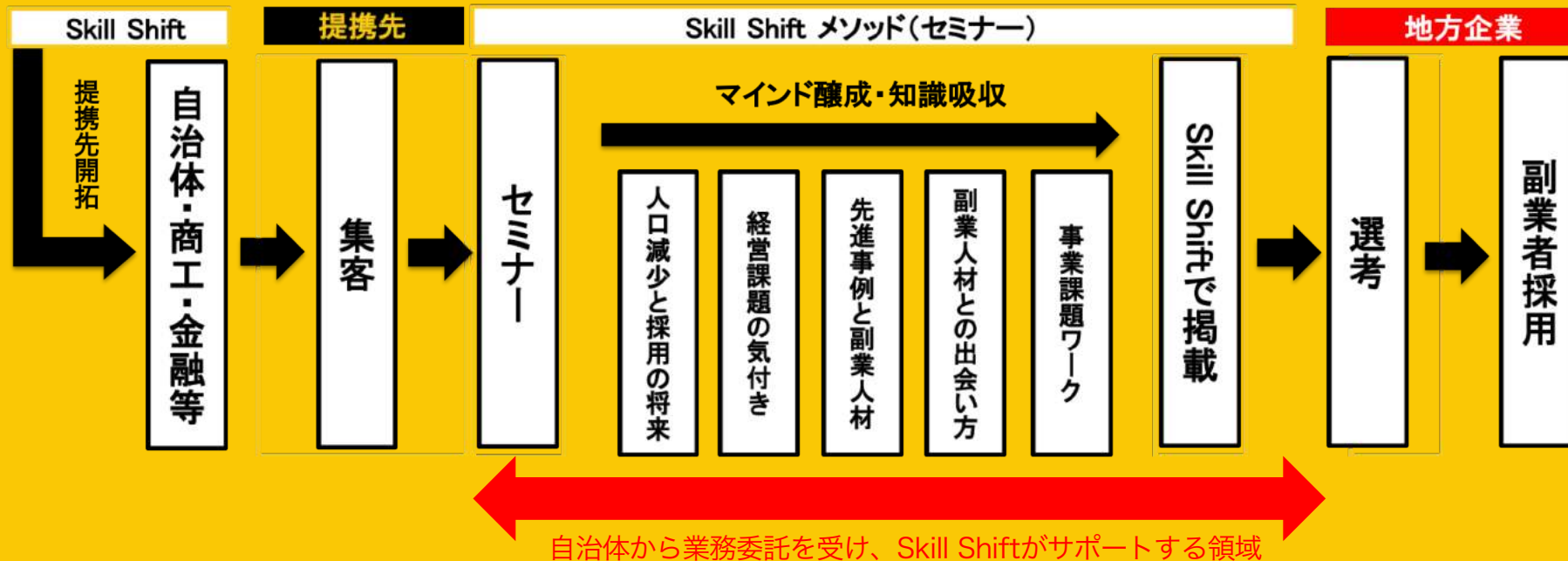
- ・掲載費支給
- ・無料お試し
- ・求人掲載代行

都市部企業が自治体財源を目的に乗り込み、地域にノウハウが残らないことがこれまでの課題でした。

Skill Shiftは全国で展開してきた「副業人材の活用」のための知識を提供する経営者向けセミナーと、課題を抽出し副業求人掲載するノウハウなどを事業期間中に移管し、地域金融機関を育成します。



## 経営者向けのセミナーメソッドによる人材活用講座



「副業人材の活用」のための知識を提供する経営者向けセミナーと、課題を抽出しSkill Shiftに副業求人掲載するまでをSkill Shiftが担当し、スムーズな体験を提供。

**Skill Shift 独自の経営者向け啓蒙セミナーコンテンツが強み**

## 予算のイメージについて

概算見積もり金額

¥3,465,000

関係先	内容	数量	単位	単価	金額	備考
Skill Shift	旅費交通費（セミナー開催時／講師人件費含む）	4	回	50,000	¥200,000	
	問い合わせ対応／管理画面生成／保守メンテナンス	1	式	450,000	¥450,000	
	Skill Shift掲載費（事業パッケージプラン） ・1件求人掲載50,000円で20社掲載を想定。 20社以上の県内企業の求人掲載に関しては公共事業に付き年度内は無料提供	1	式	1,000,000	¥1,000,000	
連携先活動費	・集客、チラシ制作、セミナー開催費用 （求人掲載件数30社を下限目標） ・求人作成代行 ・地域企業フォローアップ	1	式	1,500,000	¥1,500,000	

※Skill Shiftは上段のディスカウント掲載費（想定求人掲載数）が発生します。  
※連携先については、1社あたり

計	¥3,150,000
消費税(10%)	¥315,000
総計	¥3,465,000

地域貢献×副業受け入れプロジェクト「Skill Shift」



Skill Shiftは、地方にイノベーションを起こす唯一のプラットフォームです。